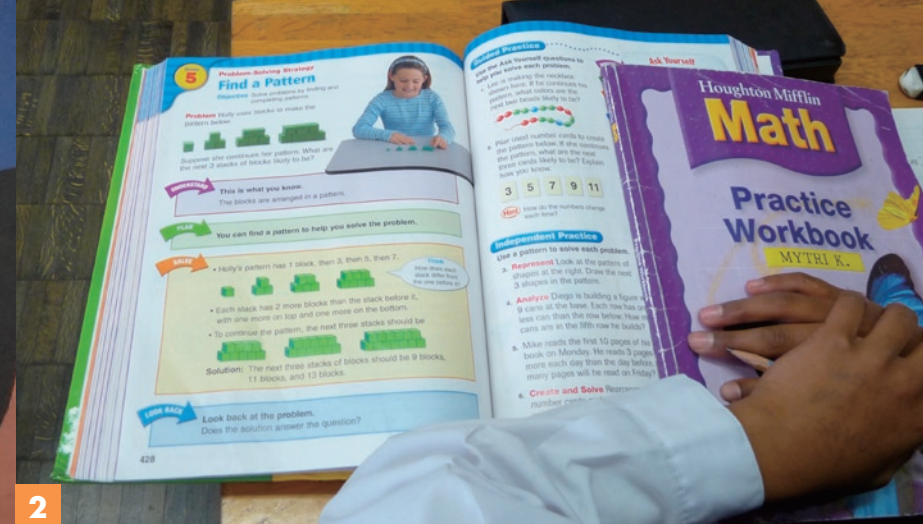


日・英・仏の3カ国語を身につける！

● 暁星国際小学校



1. シェークスピアの『マクベス』を演じる子どもたち。「Fair is foul, foul is fair (きれいはいきない、いきないはきれい)」有名な魔女のセリフも英語で。2. インターナショナルコースで使っている算数の教科書。ビジュアルが多くカラフル。3. レギュラーコース1年生の英語の授業にて。動名詞について学んでいます。4. 教室では電子黒板も活用しています。5. 県外からも、川崎、横浜、品川などから直行するスクールバスを使えば1時間程度で通学できます。6. 季節の木々が彩る美しい学園。春には桜も。同じ敷地に広大なサッカーグラウンドを備えています。



英語は週6時間、
フランス語は週3時間

「国際人の育成」をめざして創設された学園。小学校でも全員が、英語を週6時間、フランス語を週3時間学びます。もちろんネイティブスピーカーによる指導です。国語にも力を入れ、1・2年生は週9時間を確保しています。

学び方については受験時に、日本人がクラス担任の「レギュラーコース」と、外国人がクラス担任の「インターナショナルコース」から自分の進む道を選べます。

インターナショナルコースはアメリカのテキストを使い、国語以外の科目がすべて英語で進められます。英語学習は5年生にしてシエークスピア！英語検定2級(高校卒業程度)取得者がめずらしくないのもうなずけます。徹底して語学力を高めた子どもや、身につけた英語力を維持したい帰国生などがこのコースを選んでいきます。「先生たちは教材を公開したり生徒のカルテを作って情報共有し、つねに教育の質を高めています」と、教頭の青木和美先生。

レギュラーコースでも
目標は英検準2級以上

レギュラーコースも毎日1時間ずつ英語の授業があるのは同じ。インターナショナルコースとの違いはわずか1年遅れというレベルの高さです。目標は卒業までに英検準2級以上(高校中級程度)。外国人の先生に教わる教科もあり、国際的なセンスが知らず知らず身につけられます。また社会科見学など季節の行事や委員会、クラブなどは2コース合同で行われるため、ネイティブスピーカーの友だちができるのも魅力でしょう。

フランス語については両コースともネイティブの先生による基本的な発音・日常会話から始まり、高学年ではフランス語検定を受けられるレベルに。校内では校長先生にフランス語であいさつする子どももいるといいます。

日本語検定、漢字検定にも積極的に取り組んでいる暁星国際小学校。多国語は手段であり大切なのは「やりたい」という目的をもってそれを言葉にすること、と青木先生は語っていました。